

# ANA 営業益最高

## 5割増、訪日客がけん引 4～9月

ANAホールディングスの2015年4～9月期は、本業のもうけを表す連結営業利益が850億円前後と前年同期比5割増え、4～9月期として過去最高を更新したようだ。中国や東南アジ

アを中心とする訪日客の増加が追い風となり、国際線の収益が拡大した。原油安による燃料コストの減少も寄与した。会社は上期予想を開示していない。売上高は5%増の9000億円程度

になったもよう。上期は成田―ヒューストン線、成田―クアラルンプール線を就航して国際線を拡大。ビジネス用途も含め、訪日客の需要を取り込んだ。円安により外貨で販売する航空券を円換算し

た収入も膨らんだ。

国内線については北陸新幹線開業の影響を受けた反面、企業業績の改善でビジネス需要は堅調だった。利用機材を小型にして採算改善を進めたほか、燃油価格の下落もプラスに働いた。

10月以降も羽田空港と中国各地を結ぶ路線を増便して訪日客の需要を取り込む考え。16年3月期通期は営業利益で前期比26%増の1150億円と過去最高を見込んでいるが、さらに上振れする可能性がある。